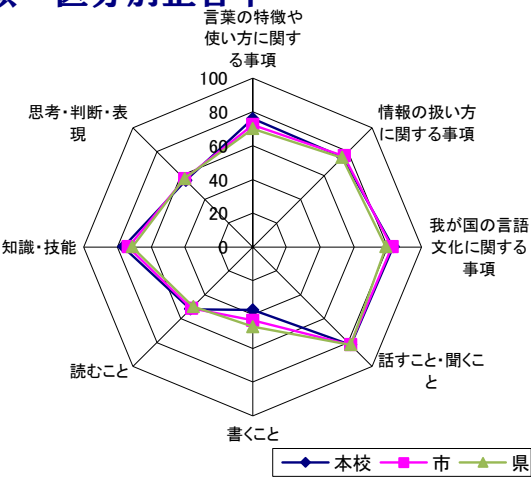


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

問題に 関する 領域等	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に 関する事項	76.0	72.3	70.0
	情報の扱い方に 関する事項	75.3	76.4	74.9
	我が国の言語文化に 関する事項	83.2	82.4	78.9
	話すこと・聞くこと	82.0	81.9	82.0
	書くこと	37.4	43.5	47.2
	読むこと	52.0	51.4	49.8
観点	知識・技能	76.6	73.6	71.3
	思考・判断・表現	55.8	57.1	57.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に 関する事項	○言葉の特徴や使い方に 関する事項の平均正答率 は76.0%で、県より6ポイント 上回っている。 ○第4学年に配当されている漢 字を正しく書いているかどう かを問う問題の正答率は県平 均を大きく上回っている。 ●文の中における修飾と被修 飾の関係を捉えることができる かどうかを問う問題の正答率 は14.6%で、県を7.7ポイント 下回っている。	・連用修飾語の働きについて、 様々な文例を用いて、理解さ せるようにする。 ・文を読んだり書いたりする際 、語と語の繋がりを意識する ことができるよう声掛け、指 導をしていく。
情報の扱い方に 関する事項	○情報の扱い方に 関する事項の正答率は75.3% で、県と同等である。	・漢字辞典の使用機会をより多 く設定することで、さらなる 習熟を図る。
我が国の言語文化に 関する事項	○我が国の言語文化に 関する事項の正答率は83.2% で、県を4.3ポイント上回って いる。	・ことわざの意味を確認したり 、短文を作ったりしながら理 解を促し、さらなる習熟を図 る。
話すこと・ 聞くこと	○話すこと・聞くこと の平均正答率は82.0%で、県 と同等である。 ○相手に伝えるように、自分 の考えを、理由を挙げながら 話すことができるかを問う問 題の正答率は95.5%で、県を 4.6ポイント上回っている。 ●話の中心を明確にするため の話手の工夫を捉えることが できるかどうかを問う問題の 正答率は74.2%で、県を4.3 ポイント下回っている。	・意見を聞くときには、話し手 がどのような工夫をしている かについても意識して聞くこと ができるよう日頃から指導し ていく。また、明確に話すた めにできる工夫を示す。
書くこと	●書くこと の正答率は37.4%で、県を9.8 ポイント下回っている。 ●段落の役割について理解し 、2段落構成で文章を書くこ とができるかどうかを問う問 題の正答率は31.5%で、県を 14.4ポイント下回っている。 ●内容の中心を明確にし、事 実を伝える文章を書くことが できるかどうかを問う問題の 正答率は39.3%で、県を13.3 ポイント下回っている。	・文章を書く経験を重ねること で「書くこと」への抵抗感を 少なくしていけるようにする。 ・2段落構成で書くことや事 実と意見を分けて書くなど、 いくつかの条件を与えて、そ れらを満たして書く学習を取 り入れる。
読むこと	○読むこと の平均正答率は52.0%で、県 を2.2ポイント上回っている。 ○情報と情報との関係につ いて理解し、中心となる語や 文を見つけて要約することが できるかどうかを問う問題の 正答率は73.0%で、県を9.5 ポイント上回っている。 ●登場人物の性格について、 具体的に想像することができる かどうかを問う問題の正答率 は31.5%で、県を7.7ポイント 下回っている。	・読書を励行し、読書に親し むことができるようにする。 ・物語文を読む際、文章の叙 述をより意識させることで、 大まかな内容把握だけに留ま らず、正確に読み取るための 読解力の育成を図る。